

| 順位 | 氏名（議席） | 発言の要旨 | 答弁者 |
|----|----------|---|-------------------------|
| 16 | 鳥居 育世（1） | <p>1. 新型コロナウイルス感染症に伴う小中学校の休校と今後の対応について</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、小中学校では3月と4月に2回の休校が実施されました。休校中、子供たちは自粛生活を守りながら、自宅で課題と向き合い、学校の再開を待ち望んでいたことと思います。また、子供たちの体力や精神的ストレス、学習の格差など心配されることも多く、保護者も長期化する休校に負担が増え、困難な状況に追い込まれる家庭も多くありました。それは、学校の現場でも同じだったと思います。前例のない事態に各学校の対応や、教職員の皆さんの対応も苦勞が絶えなかったことと思います。</p> <p>今後、新型コロナウイルス感染症は第2波、第3波と感染が流行する予想が出ています。また、他の未知なるウイルスとの遭遇も懸念され、新しい生活様式への転換が求められています。子供たちの学びを止めることなく安心して学び、体験できる学校生活を送れる環境づくりをしていくため、以下質問いたします。</p> <p>(1) 今後の小中学校の休校、再開についての指針について</p> <p>① 2回の休校を踏まえ、今後の富士市としての休校の基準や、学校の対応についてどのように進めていくのでしょうか。</p> <p>② 休校になった場合の課題の進め方をどうしていくのでしょうか。</p> <p>③ 今後、リモート授業を取り入れ活用していく方針は具体的に決まっているのでしょうか。</p> <p>(2) 学校生活を安全で安心して過ごせるように、新型コロナウイルスを含めた感染症対策について</p> <p>① 学校での新しい生活様式はどのように変わり、児童生徒への指導、教育はどのようにされているのでしょうか。</p> <p>② 熱中症対策とマスクの着用をどのように指導していくのでしょうか。</p> <p>③ 風邪症状の児童生徒への対応や新型コロナウイルス感染を心配することでの欠席についてはどのような取扱いをしていくのでしょうか。</p> <p>(3) 新型コロナウイルスと共存していく今後の生活の中、子供たちが安全に学び、寄り添った教育のための少人数学級の検討について</p> <p>現在、富士市でも、静岡方式として35人学級を実施していますが、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するソーシャルディスタンスを保つには多過ぎます。今後の休校での課題や学習の遅れのフォローについても、取りこぼされる児童生徒がなく、教職員の負担軽減につながる少人数学級への検討はされないのでしょうか。</p> | 市長 及び 教育長 担当部長 |